

会 記・Proceedings

魚類学雑誌  
41(1): 96-105, 1994

1993年度第4回役員会

1993年12月14日(火)、於 東京水産大学資源育成学科会議室。出席者：岩井、上野、新井、宮、松浦、河野、馬場、丸山。

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項 編集：4号の編集作業は順調、予定通りに2月15日に発行できそう。投稿も順調で、1993年中の投稿総数は70篇。和文誌と英文誌の分離問題に関するアンケートの発送と受領を学会事務センターに依託した。庶務：会長選挙の投票用紙の発送が終了した。文部省の出版助成金の申請が終わってた。
3. 1994年度秋のシンポジウムについて：三重県で開催する方向で、三重大学の木村氏を中心に企画していただくよう依頼することになった。
4. 役員人事：かなり長期間にわたって在任している役員が多いために、来年度は大幅な交代を実施することが了承された。
5. その他：
  - 1) 学術会議第16期会員などの改選について：検討の結果、推薦人ならびに推薦予備人については前回通りとし、会員候補については水産学会と調整して決めることが了承された。
  - 2) 外国会員の会費長期滞納者の取扱について：連絡のとれる相手に対しては、再入会に手続きをとるよう働きかけることになった。
  - 3) 入会申し込み書の書式について：現在の入会申し込み用紙は不用な項目が多くすぎるとの指摘があり、項目を絞って新しい用紙を作成することになった。
  - 4) 年会の会計事務の依託について：年会関係の会計事務のうち、参加費と懇親会費の受領などに関する部分を事務センターに依託する案について検討した。

- 5) バンコクで開催されたインド・太平洋魚類学会議について：約250名が参加し、盛会であった。外国人参加者が約30カ国150名であったが、うち約50名が日本からの参加者であった。次回は1997年にニューカレドニアで開催される予定。

1993年度第5回役員会

1994年2月17日(木)、於 東京水産大学資源育成学科会議室。出席者：岩井、沖山、上野、新井、谷内、宮、河野、丸山、佐野、藤田、山本(学会事務センター)。

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項 会長：来年度の秋季シンポジウムの開催について、木村清志氏(三重大)の了承が得られた。第16期学術会議会員候補者として水産研連から清水誠氏(東大農学部)を、動物研連から本間義治氏(新潟大理学部)を推薦した。編集：40巻4号には17篇掲載、手持ち原稿44篇。庶務：第16期日本学術会議会員、推薦人、推薦人予備者の手続きを済ませた。各委員は次の通り、水産研連からの会員候補者：清水誠(東大農学部)、推薦人：谷内透(東大農学部)、推薦人予備者：多紀保彦(東水大水産学部)、動物研連からの会員候補者：本間義治(新潟大理学部)、推薦人：新井良一(国立科学博物館)、推薦人予備者：上野輝彌(国立科学博物館)の各氏。
3. 会長(1996~97年度)選挙開票結果：開票の結果下記の通りとなり、尼岡邦夫氏が会長(1996~97年度)に決まった。(評議員数49、投票総数31、有効票数31、無効0)。尼岡邦夫(13票)、多紀保彦(4票)。
4. 日本学会事務センターとの業務委託契約について：日本魚類学会と日本学会事務センターとの業務委託契約を検討し、契約書を取り交わした(契約期間平成6年3月1日~平成7年2月28日)。
5. 1994年度年会について：評議員会、総会の運営および1993年度の決算および1994年度の予算について検討した。
6. その他。

---

1993 年度第 6 回役員会

---

1994 年 3 月 10 日（木）於 東京水産大学資源育成学科会議室。出席者：沖山、上野、松浦、宮、河野、高木、馬場、丸山、佐野、藤田。

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項 副会長：1994 年度秋季シンポジウムは 10 月 1 日に三重大学で開催される予定である旨、木村清志氏より連絡があった。テーマは「日本における水族館の役割と将来の展望」。編集：魚類学雑誌第 40 卷は計 62 篇を掲載し、総頁数 532 頁で、そのうち和文は 3 篇。
3. 役員人事（1994～1995 年度）は次のとおりとすることが決まった。  
会長：沖山宗雄；副会長：尼岡邦夫；庶務幹事：藤田 清、大竹二雄、瀬能 宏；会計幹事：馬場 治、林 公義；編集幹事：松浦啓一、宮 正樹、河野博、佐野光彦；会計監査：上野輝彌、新井良一の各氏。
5. 1994 年度年会の評議員会、総会の運営および役割分担等について検討し、会場の下見をした。
5. 名誉会員として、評議員会に B. P. Bishop Museum, Hawaii の John E. Randall 博士と P. P. Shirshov Institute of Oceanography, Moscow の Nikolay V. Parin 博士を推薦することに決まった。
6. その他。

---

第 1 回編集委員会

---

出席者：岡崎、桑村、河野、後藤、坂本、佐野、仲谷、細谷、本間、松浦、宮。

場所：東京水産大学資源育成学科会議室

日時：1994 年 3 月 29 日（水）12:30～14:30

議事：

1. 1993 年度編集報告：委員長から報告が行われた。投稿論文数が多く、順調に出版されている。しかし、掲載論文数が 1 号につき 17, 18 篇のこともあるので、もう少し投稿論文が増えると、より安定した編集作業が行えるという説明があった。また、出版までの期間は、投稿論文数が増えても現状を維持できる見通しである。

2. 超過ページ代に関する改訂案：評議員会に提案する方針について委員長から説明があった。
3. 英文誌・和文誌について：英文誌の内容については、国際的なものを目指すべきであるという意見の一一致をみた。英文誌名については、以下の 2 案にしばられた。(1) 英文誌に新名称を用いる場合には、和文誌の和文名称は従来のままでし、英文名称を新たに設けることにする。(2) 英文誌名を従来の Japanese Journal of Ichthyology とする場合には、和文誌の和文名称は従来のままでし、新しい英文名称を設ける。今後、これらの案をさらにつめて、秋までに具体案を作成することにした。

英文論文の和文摘要の掲載についても検討し、英文誌の末尾にまとめて掲載するか、和文誌にまとめて掲載するかのいずれかにするべきであるという事になった。

和文誌については、会員への情報提供を考慮した内容とすべきことで、意見が一致した。

和文誌に掲載される論文の著者名と標題を英文誌に掲載することが望ましいという事になった。

- 雑誌の表紙については会員に公募し、よい案がない場合にはデザイナーに依頼することも検討すべきであるという事になった。
4. 年会の開催について：委員長から評議員会に提案される方針について説明があった。
  5. その他。

---

日本学術会議だより No.31 (1993 年 12 月)

---

平成 5 年 10 月 20 日から 22 日まで第 117 回総会が開催され、「生物遺伝資源レポジトリー及び細胞・DNA レポジトリーの整備について（要望）」等が採択された。また、11 月 15 日から 18 日まで開催されたアジア学術会議科学者フォーラムについて報告があった。

---

日本学術会議だより No.32 (1994 年 3 月)

---

第 16 期会員推薦関係費、アジア学術会議開催経費などを計上した平成 6 年度予算（案）が次表のとおり決定された。また、第 4 常置委員会が行った「我が国における学術団体の現状」の報告があった。

## 平成6年度日本学術会議予算

(単位：千円)

事項	前年度 予算額 A	平成6年度 予算額 B	比較 △ 減額 C=B-A	備考
日本学術会議の運営に必要な経費	1,095,827	1,201,287	105,460	対前年度比較 109.6%
審議関係費	265,525	272,534	7,009	○ 地球圏—生物圏国際協同研究計画 (IGBP) シンポジウム、公開講演会等
国際学術交流関係費	221,254	226,646	5,392	
国際分担金	74,722	67,450	△ 7,272	
国内開催費	73,543	86,172	12,629	
代表派遣費	44,006	44,006	0	
二国間交流費	6,823	6,823	0	
アジア学術会議費	22,160	22,195	35	
会員推薦関係費	19,574	100,055	80,481	
会員推薦管理会費	19,102	21,632	2,643	
推薦経費	472	57,629	57,393	
臨時審議経費	0	21,007	21,007	○ 第16期推薦経費 ○ 臨時総会、臨時部会
一般事務処理費	589,474	602,052	12,578	

**1994年度年会**

1994年度年会が、1994年3月30日(水)～31日(木)に東京水産大学において開催され、以下の会合があった。

**1. 1994年度第1回評議員会**

年会に先だって、3月29日15:00～17:00に評議員と役員合計30名が出席して開催された。議長には木村清志氏が選出された。議題は以下の通りであった。1)会長挨拶。2)1993年度会務報告。3)1993年度編集委員会報告。4)1993年度決算報告・同監査報告。5)1994年度予算。6)会長(1996～1997年度)選挙結果の報告。7)役員人事(1994～1995年度)についての報告。8)日本学術会議に関する報告。9)その他。10)新会長挨拶。

以上の議題のうち、1993年度決算案、1994年度予算案については、原案どおり承認された。6)の会長選挙の結果については、有効投票数が31票であり、尼岡邦夫氏が当選(次点は多紀保彦氏)されたことが報告された。7)の役員人事については、会長の岩井保氏が沖山宗雄氏

と、会計幹事の谷内透氏が林公義氏と、庶務幹事の新井良一氏・丸山隆氏が大竹二雄氏・瀬能宏氏と、会計監査の高木和徳氏が新井良一氏と、それぞれ交代することが報告された。9)のその他の中では、年会の地方開催について提案が行われ、1996年度から実施する方向で検討することになった。また、魚類学雑誌に関しては超過ページ代等の改訂と英文誌・和文誌に分離することの二つの提案が行われ、前者については原案通りに承認されたが、後者については今後役員会などで検討を行って次回の評議員会までに具体案を作ることになった。さらに、長年にわたり本会会員として活動して来られたJ.E. Randall氏とN.V. Parin氏を名誉会員に推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。最後に、1994年度秋のシンポジウムが「日本における水族館の役割と展望」のテーマで10月1日(土)の10:00～17:00に三重大学で開催される予定であることが木村清志氏から報告された。

**2. 1994年度第1回編集委員会**

3月29日12:00～14:30、編集委員11名が出席し、編集上の諸問題ならびに魚類学雑誌の英文誌・和文誌分離問題などについて検討した。

### 3. 1994 年度第 1 回総会

3月30日12:00～12:45。出席者40名。議長に木村清志氏を選出し、以下の挨拶と報告が行われた。1)会長挨拶。2)1993年度会務報告。3)1993年度編集委員会報告。4)1993年度決算報告・同監査報告。5)1994年度予算。6)会長(1996～1997年度)選挙結果の報告。7)役員人事(1994～1995年度)についての報告。8)日本学術会議に関する報告。9)その他。

### 4. 研究発表会

例年通り、第1会場・第2会場・展示発表会場に分かれて研究発表が行われた。研究発表は下記の104題で、参加者は延べ約330名であった。

#### Papers Presented at the 27th Annual Meeting, 1994 (March 30–31, 1994)

#### Poster Session

- Tominaga, Y. and K. Sakamoto: Scanning and image-processing by personal computer.
- Hara, M., S. Ishijima, S. Tanaka and M. Okiyama: Ultrastructure and mortility of spermatozoa of dogfish (*Deania calcea*).
- Takahashi, K., Y. Monma, K. Hosoya, T. Takatori and K. Kiso: Rediscovery of *Pseudorasbora pumila pumila* Miyadi from type locality.
- Ichiyanagi, T., H. Kohno, K. Fujita and Y. Taki: Ontogenetic development of the Weberian ossicles and associated bones in the cyprinid *Tribolodon hakonensis*.
- Takayama, H., M. Okamoto, S. Obara, N. Sato, E. Komiyama and H. Horimoto: Age, body size and fecundity of mature pink salmon under cultivation.
- Saito, Y.: Distribution and disappearance of *Salvelinus leucomaenoides* in the basal zone of Kanto mountain range —II.
- Fujita, K. and Y. Oozeki: Development of the caudal skeleton in the scomberesocid fish, *Cololabis saira*.
- Sakashita, M.: New record of *Onigocia grandisquamis* from Thai Gulf.
- Hayashi, M., T. Yamakawa, N. Oonishi, W. Hiramatsu and T. Hirata: First record of apogonid fish, genus *Siphamia* from Japan.
- Iguchi, K. and N. Mizuno: Survival of drifting larvae in amphidromous gobies.

### Physiology

- Chiba, A., Y. C. Shon, S. Oka, Y. Iwata and Y. Honma: Immunohistochemical and electron microscopical examination of the innervation of the saccus vasculosus.
- Oka, S., A. Chiba and Y. Honma: Ontogenetic development of the gonadotropin-releasing hormone (GnRH) cells in the brain of the chum salmon, *Oncorhynchus keta*.
- Takeuchi, K.: GABA-receptors in posterior thalamus play an important role in the steering control of swimming in the medaka.
- Iwata, Y., Y. Honma and A. Chiba: The localization of NPY-like substance in the brain of the sticklebacks, with regard to the coexistence with other peptides in the nucleus olfactoretinalis.
- Suzuki, S. and K. Hagiwara: Fine epidermal skin structure in the planktonic and pelagic stages of the mudskipper larvae, *Periophthalmus modestus* (Gobiidae).

### Systematics & Evolution

- Kurokawa, H. and S. Tanaka: Comparative morphology on the spermatozoon of Chondrichthyes.
- Goto, T., K. Nakaya and K. Amaoka: Anatomy of branchial arches in the family Parascyllidae, and its water ventilation mechanism.
- Yamazaki, Y. and A. Goto: Genetic relationships among three species of lampreys in Japan.
- Shirai, S.: A revised method of measurements for the chondrichthyan systematic research.
- Asahida, T. and T. Kobayashi: Amplification and analysis of ribosomal gene segments of mtDNA in elasmobranchs using the PCR.
- Nakaya, K. and K. Sato: Presence of subgroup in the genus *Apristurus* (Scyliorhinidae).
- Hatooka, K.: Taxonomy of the subfamily Uropterygiinae (Muraenidae).
- Sato, Y.: Application of Adams consensus method to evolutionary classification: A case of clupeids.
- Akai, Y. and R. Arai: A bitterling, *Rhodeus atremius atremius*, from China.
- Ueda, T., Y. Takahashi and K. Aoki: Karyological characteristics of hybrids between female rose bitterling and male netted bitterling.
- Tabe, M. and Y. Nagata: Genetic differentiation of four species of rare bitterlings.
- Kawamura, K. and K. Hosoya: Undescribed species of cobitid genus *Lefua*, obtained from mountain streams in the western part of Japan, I. Morphological characteristics.
- Hosoya, K., Y. Yamashina, T. Kamei, Y. Nakatani, M. Sugiura and H. Ashiya: Undescribed species of cobitid genus *Lefua*, obtained from mountain streams in the western part of Japan, II. Distribution.

- Doi, A. and Y. Taki: Two undescribed species of the cobitid genus *Botia* and their relationships within the genus.
- Watanabe, K. and T. Uyeno: Fossils and zoogeography of the Japanese bagrid fishes.
- Kakizawa, Y. and W. Meenakarn: The upper jaw teeth of the Mekong giant catfish, *Pangasianodon gigas*.
- Urano, T.: An undescribed catfish of the genus *Corydoras* (Callichthyidae) collected from Goias, Brasil.
- Kim, I.-S. and E.-H. Lee: Interspecific hybridization of triploid hybrid species *Cobitis sinensis-longicorpus* complex from Korea.
- Takagi, M. and N. Taniguchi: Variability and geographical divergence in Ryukyu-Ayu *Plecoglossus altivelis ryukyuensis* by DNA fingerprinting.
- Okiyama, M. and H. Soma: Is the genus *Bathysauropsis* a monophyletic group?
- Endo, H. and K. Amaoka: Relationships of gadine fishes and their zoogeography.
- Christian, N. and K. Amaoka: Functional morphology of jaws in Zeiformes.
- Takahashi, H. and K. Takata: Mitochondrial DNA divergence in the ninespine sticklebacks, *Pungitius*, in Honshu, Japan.
- Shinohara, G.: Swimming mechanism and pectoral muscles in genus *Pleurogrammus*.
- Okazaki, T., T. Kobayashi, Y. Suzawa and T. Shimizu: An undescribed amphidromous cottid fish obtained from rivers entering the Sea of Japan.
- Tsutsui, D., M. Yabe and K. Amaoka: An undescribed cottid fish of the genus *Icelus* collected from the southern part of the Sea of Okhotsk.
- Yokogawa, K., N. Taniguchi and S. Seki: Morphological and genetic features of sea bass *Lateolabrax japonicus* from Ariake Sea.
- Miyahara, H., K. Sasaki and O. Okamura: Phylogeny of centropomid fishes and the related groups.
- Yabumoto, Y. and T. Uyeno: Miocene leiognathid fish from Tottori Prefecture, Japan.
- Moteki, M. and K. Fujita: A review of the genus *Brama* (Bramidae), with emphasis on the amphitropical species complex.
- Iwatsuki, Y., S. Kimura, T. Yoshino and H. Senou: Review of the gerreid fishes of Japan.
- Sasaki, K.: A review of the sciaenid genus *Panna*.
- Kanda, M., K. Yamaoka and M. Okiyama: Morphological study on dentition and intestinal coiling patterns of the genus *Kyphosus* (Kyphosidae) from Japan.
- Shimokawa, T. and K. Amaoka: Interrelationships of the family Cheilodactylidae.
- Suzuki, T. and T. Nakabo: An undescribed species of *Spinapsaron* from the southern part of the Sea of Japan.
- Ikeda, Y., T. Nakabo and W. Hiramatsu: Review of a gobiid fish, *Vanderhorstia macropteryx*.
- Inamura, O., S. Tanaka and N. Takeda: Variation of cephalic sensory organ in the population of *Chaenogobius* sp. 3 distributed in Toyama Prefecture.
- Musikasinthorn, P. and Y. Taki: Morphological comparison of suprabranchial organs in Southeast Asian channid fishes.
- Amaoka, K., H. Senou and A. Ono: Record of the bothid flounder *Asterorhombus fijiensis* from the western Pacific with observations on the use of the first dorsal-fin ray as a lure.
- Mihara, E. and K. Amaoka: An undescribed and a rare species of the genus *Bothus* (Pisces: Bothidae).
- ### Early Life History
- Ohta, T. and C. Nashirozawa: Sperm penetration and fertilization cone formation in teleost eggs.
- Okabe, K.: Species composition of fish larvae and juveniles collected by light-sampling during one lunar month.
- Suzuki, A., T. Igarashi, M. Gomi and K. Yamanaka: Morphological development of larval and juvenile *Polypodus senegalus senegalus*.
- Hayashi, H., Y. Kubo and H. Asano: Embryonic development and larvae of two congrid eels, *Ariosoma shiroanago major* and *Gnathophis nystromi nystromi*.
- Kinoshita, I., K. Yoseda, T. Morioka, J. Shoji and M. Tanaka: Early life history of *Gadus macrocephalus* around Noto Island.
- Nagasawa, T.: Planktonic larvae and pelagic juveniles of a rockfish, *Sebastodes schlegeli*.
- Onikura, N., N. Takeshita, S. Matsui and S. Kimura: Characteristics of early life history of the roughskin sculpin, *Trachidermus fasciatus*.
- Muto, F., M. Yabe and K. Amaoka: Taxonomy of larval and juvenile *Myoxocephalus* in Japan.
- Yokoyama, K., Y. Kamei, M. Toda, K. Hirano and Y. Iwatsuki: Reproductive behavior, eggs and larvae of a caesionid fish, *Pterocaesio digramma*, observed in an aquarium.
- Hioki, S., H. Kishimoto and K. Suzuki: Larval characteristics and subgeneric classification in the genus *Centropyge* of the family Pomacanthidae.
- Tanaka, Y.: Eggs and larvae of eleven species of the Japanese hawkfishes.
- Tsukamoto, Y., M. Hara and M. Okiyama: The morphological properties of needle-like processes in larval dragonet, *Repomucenus beniteguri*.
- Aritaki, M. and I. Kinoshita: Disappearance of the pectoral fins as the settlement in larval righteye flounders.
- ### Ecology & Behavior
- Kuwamura, T. and K. Karino: Reproductive behavior and sexual selection in *Halichoeres melanurus*.
- Masuda, M. and M. Teshima: Copulation and development of white spotted bamboo shark *Chiloscyllium plagiosum*

- in an aquarium.
- Yano, K.: Food habits of the black dogfish, *Centroscyllium fabricii*, collected from West Greenland waters.
- Inoue, M. and S. Nakano: Cross-scaled analyses on multiple environmental factors as determinates of stream fish assemblage.
- Ashiwa, H.: Comparative study of spawning ground utilization among two types of *Zacco temminckii*.
- Azuma, M. and T. Ito: The autecology of *Pseudorasbora parva*: Growth, feeding habit, and population in Lake Kawahara-oike.
- Ishinabe, T., K. Mochizuki, K. Yamashita and H. Mase: Species recognition among *Tanakia tanago*, *T. lanceolata* and a probable hybrid of the two species based on their reproductive behavior.
- Ide, K. and M. Nagoshi: Resource utilization and social behavior of juvenile of Japanese char and red-spotted masu salmon.
- Kitano, S.: Spawning timing of female Dolly Varden.
- Kubota, H., T. Nakamura and T. Maruyama: Spawning migration and survival of fries of *Salvelinus leucomaenis* and *Onchorhynchus masou* observed in a small tributary of the Kinugawa River.
- Komiyama, E.: Spawning ecology of the chum salmon, *Oncorhynchus keta*, entering an artificial creek prepared the spawning site.
- Takeyama, S., H. Munehara, A. Goto and F. Yamazaki: Fertilization success of the stream resident males of Miyabe charr, with reference to the evolutionary mechanisms for their maintenance.
- Taniguchi, Y., F. J. Rahel and J. De Staso III.: Longitudinal patterns of resident salmonids in Rocky Mountain streams: Current research at the University of Wyoming.
- Nakano, S., K. Nakai, S. Kitano and K. D. Fausch: Competitive influences of exotic brook charr on resource use by native bull charr.
- Nakamura, T.: Morphological variation between four local populations of iwana *Salvelinus leucomaenis* f. *pluvius* in adjacent tributaries of a Japanese mountain stream.
- Yamaguchi, K., T. Nakamura and T. Maruyama: Comparative study on the growth and feeding habits between native and hatchery reared masu salmon *Onchorhynchus masou* caught in a reservoir.
- Yamamura, O., T. Inada, K. Watanabe, K. Yabuki, T. Hamatsu and K. Shimazaki: Feeding habits of walleye pollock, *Theragra chalcogramma*, off northern Japan.
- Mori, S.: Multidimensional scalings for the social structure of the three-spined stickleback.
- Munehara, H. and T. Miura: *Hexagrammos otakii* males cannibalize filial eggs not intentionally but accidentally.
- Shindo, M. and A. Goto: The role of sex pheromones in the reproductive behavior of two *Cottus* species.
- Sota, K. and T. Maruyama: Microhabitat use of two river sculpins *Cottus pollax* and *C. kazika* in the Takeno River.
- Takeshita, N., S. Matsui, N. Onikura and S. Kimura: Reproductive behavior of the roughskin sculpin, *Trachidermus fasciatus*, in the aquarium.
- Natsumeda, T.: Movement in the process of pair formation in fluvial sculpin, *Cottus pollux*.
- Hayakawa, Y., H. Munehara and K. Shimazaki: Occurrence of embryo in the ovary of Gilbert's Irish lord *Hemilepidotus gilberti*.
- Washiyama, H. and S. Kasuga: Prey preference of largemouth bass, *Micropterus salmoides*, based on morphological and behavioral differences between crucian carp, *Carassius auratus langsdorfi*, and bluegill, *Lepomis macrourus*.
- Okuda, N. and Y. Yanagisawa: Paternal filial cannibalism in the cardinal fish, *Apogon doederleini*, in relation to the physical condition and mate availability.
- Hattori, A.: Inter-hosts movement and mate acquisition tactics of the protandrous anemonefish, *Amphiprion clarkii*, in a coral reef, Okinawa.
- Sakai, Y.: Spawning behavior of a cleaner wrasse, *Labroides dimidiatus* at temperate water in Japan.
- Sakamoto, K., M. Noda, H. Hashimoto and K. Gushima: Feeding ecology of the triplefin, *Helcogramma* sp.
- Kanda, T. and S. Yoshida: Reproductive ecology of *Omobranchus punctatus* in intertidal zone.
- Gonzales, B. J., O. Okamura, K. Sasaki and Y. Machida: Ecological studies on the callionymid *Repomucenus huguenini* in Tosa Bay, southern Japan.
- Hyoi, J. and Y. Nagata: Spawning of *Odontobutis obscura* and *Pungtungia herzi*.
- Yatsu, A.: The role of slender tuna, *Allothunnus fallai*, in the pelagic ecosystem of the South Pacific Ocean.
- Tezuka, F., O. Okamura, K. Sasaki and Y. Machida: Life cycle of a flatfish, *Engyprosopon multisquamata*.
- Akagawa, I. and M. Okiyama: Spawning parade of *Rudarius ercodes*: The male-male competition and female choice.
- Kawase, H. and A. Nakazono: Reproductive ecology of *Stephanolepis cirrhifer* (Monacanthidae): Two mating systems in one population.

## 5. 懇親会

3月30日 17:30～19:30。天皇陛下ならびに日本滞在中のE. K. Balon氏を含む計150名が参加して盛大に開催された。

## 6. 評議員会・総会資料抜粋

## 会員数

(1994年3月4日現在)

	国内	国外	計
個人会員	940 (+20)	222 (+8)	1162 (+28)
名誉会員	4	1	5
団体会員	73 (-1)	—	73 (-1)
賛助会員	3 (-1)	—	3 (-1)
購 読	98 (+2)	118 (-3)	216 (-1)
寄 贈	9	11 (+1)	20 (+1)

( ) 内はこの1年間の増減数

## 個人会員数及び入退会者数の推移

年度	国内			国外			退会 処分
	会員数	入会	退会	会員数	入会	退会	
88	888	49	27	202	13	4	21
89	898	54	26	202	8	4	20
90	918	46	37	210	10	3	7
91	913	30	12	211	8	1	17
92	920	47	26	214	5	3	7
93	940	55	18	222	8	7	18

会員数は3月上旬、入退会数は3月末日に集計しているので、各年度の入会者数と退会者の差引と会員数の増減とは必ずしも一致しない。

第40巻の掲載論文内訳  
(総頁数: 532頁; 掲載論文数: 62)

号	分類	生態	仔稚魚	遺伝	生理・組織
1	9	1	1	4	1
2	5	4	5	2	0
3	7	2	3	1	0
4	12	2	2	1	0
合計	33	9	11	8	1

号	英本	英短	和本	和短
1	11	4	1	0
2	13	2	1	0
3	8	5	0	0
4	8	8	0	1
合計	40	19	2	1

## 40巻掲載論文の出版に要した期間

## 1. 受け付けから出版までの期間

最短期間 4カ月

最長期間 24カ月

平均期間 8.8カ月

受け付けから9カ月以内に出版した論文 42篇 (67.7%)

受け付けから1年以内に出版した論文 53篇 (85.5%)

## 2. 受理から出版までの期間

最短日数 46日

最長日数 193日

平均日数 85日

受理から90日以内に出版した論文 44篇 (70.2%)

受理から120日以内に出版した論文 55篇 (88.7%)

## 1993年の投稿論文数: 72篇

分類	生態	仔稚魚	遺伝	生理・組織
37	14	14	1	6
英本	英短	和本	和短	
46	19	5	2	

掲載不可となった論文数: 8篇

著者が取り下げた論文数: 2篇

会記・Proceedings

日本魚類学会 1993 年度収支決算  
(自 1993 年 3 月 1 日 至 1994 年 2 月 28 日)  
収入の部 (単位: 円)

科 目	1993 年度 予 算 額	1993 年度 決 算 額	予一決
会 費	7,365,000	8,216,495	- 851,495
正会員会費	5,845,000	6,575,800	- 730,800
団体会員会費	840,000	936,000	- 96,000
賛助会員会費	80,000	80,000	0
外国会員会費	600,000	624,695	- 24,695
購 読 料	1,363,000	1,390,500	- 27,500
国 内	648,000	666,000	- 18,000
国 外	715,000	724,500	- 9,500
BACK NO. 収入	100,000	298,290	- 198,290
広 告 料	120,000	200,000	- 80,000
著者負担印刷代	600,000	1,030,430	- 430,430
学 会 補 助 金	2,100,000	2,310,000	- 210,000
雑 収 入	100,000	1,464,865	- 1,364,865
入 会 金	40,000	54,000	- 14,000
名簿積立金戻入金	0	0	0
会誌発行引当金戻し入れ収入	525,000	525,000	0
計	12,313,000	15,489,580	- 3,176,580
前 年 度 繰 越 金	5,377,174	5,377,174	0
合 計	17,690,174	20,866,754	- 3,176,580

支出の部 (単位: 円)

科 目	1993 年度 予 算 額	1993 年度 決 算 額	予一決
会 誌 発 行 費	7,000,000	7,739,718	- 739,718
名簿作成費	0	0	0
編 集 費	1,800,000	1,865,527	- 65,527
会 誌 発 送 費	600,000	605,138	- 5,138
役 員 会 合 費	50,000	33,000	17,000
シ ン ポ ジ ュ ム 費	200,000	200,000	0
消 耗 品 費	50,000	2,261	47,739
通 信 費	400,000	286,721	113,279
諸 印 刷 費	400,000	100,009	299,991
人 件 費	20,000	0	20,000
交 通 費	150,000	129,700	20,300
業 務 委 託 費	2,150,000	2,054,941	95,059
会 員 等 費	1,500,000	1,404,941	95,059
会 計 費	650,000	650,000	0
什 器 備 品 費	50,000	0	50,000
協 賛 費	30,000	30,000	0
雜 費	300,000	289,820	10,180
国際会議繰入金	0	1,158,356	- 1,158,356
雜 損 失	0	66,640	- 66,640
予 備 費	100,000	0	100,000
会誌発行引当金	525,000	577,500	- 52,500
名簿作成積立金	150,000	150,000	0
計	13,975,000	15,289,331	- 1,314,331
次 年 度 繰 越 金	3,715,174	5,577,423	- 1,862,249
合 計	17,690,174	20,866,754	- 3,176,580

貸借対照表  
(1994 年 2 月 28 日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産		流動負債	
預 け 金	2,738,802	未 払 費 用	30,000
小 口 現 金	116,703	前 受 会 費	120,000
未 収 金	195,000	仮 受 金	353,490
立 替 金	607,908	会誌発行引当金	577,500
定期預金	4,708,356	名簿作成積立金	550,000
		国際会議繰入金	1,158,356
		次年度繰越金	5,577,423
		前年度繰越金	5,377,174
		今年度剩余金	200,249
合 計	8,366,769	合 計	8,366,769

財産目録  
(1994 年 2 月 28 日現在)

資産の部 (単位: 円)

科 目	摘 要	金 額
流动資産		
預 け 金	(財)日本学会事務センター	2,738,802
小 口 現 金	学 会 手 許 金	116,703
未 収 金	195,000	
	広 告 料	135,000
	著 者 負 担 印 刷 代	60,000
立 替 金	学 会 誌 別 刷 代	607,908
定 期 預 金	日本信託銀行銀座支店	4,708,356
合 計		8,366,769

負債の部

科 目	摘 要	金 額
流动負債		
未 払 費 用	協 賛 金	30,000
前 受 会 費		120,000
仮 受 金	年 会 準 備 金	353,490
	会誌発行引当金	577,500
	名簿作成積立金	550,000
	国際会議繰入金	1,158,356
合 計		2,789,346

繰越金

科 目	摘 要	金 額
前 年 度 繰 越 金		5,377,174
今 年 度 剩 余 金		200,249
合 計		5,577,423

## 1994年度予算

(自 1994年3月1日 至 1995年2月28日)  
(単位: 円)

科 目	1993 年度 決 算 額	1994 年度 予 算 額
会 費	8,216,495	7,430,000
正会員会費	6,575,800	5,985,000
団体会員会費	936,000	840,000
賛助会員会費	80,000	60,000
外国会員会費	624,695	545,000
購 読	1,390,500	1,128,000
国 内	666,000	648,000
国 外	724,500	480,000
BACK NO. 収 入	298,290	200,000
広 告	200,000	120,000
著者負担印刷代	1,030,430	1,000,000
学 会 捧 助 金	2,310,000	2,310,000
雑 収 入	1,464,865	100,000
入 会 金	54,000	40,000
名簿積立金戻入金	0	550,000
会誌発行引当金 戻し入れ収入	525,000	577,500
計	15,489,580	13,455,500
前 年 度 繰 越 金	5,377,174	5,577,423
合 計	20,866,754	19,032,923

支出の部 (単位: 円)

科 目	1993 年度 決 算 額	1994 年度 予 算 額
会誌発行費	7,739,718	7,500,000
名簿発行費	0	550,000
編集費	1,865,527	1,800,000
会報費	605,138	750,000
役員会費	33,000	50,000
シンボジウム費	200,000	200,000
消耗品費	2,261	50,000
通信費	286,721	400,000
諸人交際費	100,009	400,000
業務委託費	0	20,000
機器賃料費	129,700	150,000
協賛費	2,054,941	2,200,000
雑費	0	50,000
国際会議費	30,000	30,000
国際会議繰入金	289,820	300,000
損失	1,158,356	0
予備費	66,640	0
会誌発行引当金	577,500	577,500
名簿作成費	150,000	150,000
計	15,289,331	15,277,500
次 年 度 繰 越 金	5,577,423	3,755,423
合 計	20,866,754	19,032,923

## 会員異動 (1993.12.1-1994.2.28)

